



煤ヶ谷駐在所

厚木警察署
煤ヶ谷駐在所
編集*渡部
Tel 046-223-0110

水難及び山岳遭難に遭わないために ~楽しい夏を過ごすための心がけ~

夏は山や海等でのレジャーを楽しむ機会が増える季節です。自然に触れるレジャーは、楽しみがある反面、自然ならではの危険もあります。次のことを守り、夏の山や海等での楽しい思い出を作りましょう。

- 山岳遭難防止のために**
- 登山計画書(登山届)を提出しましょう。神奈川県警察ホームページからオンラインによる提出も可能です。
 - 次のQRコードから神奈川県警察のホームページに掲載されている日本山岳ガイド協会が運営する「コンパス」、または、県警察独自の「登山計画書届出フォーム」に接続できますので活用してください。
http://www.police.pref.kanagawa.jp/mes/mesg0004.htm
 - 万が一の遭難時に捜索の手がかりとなります。
 - その他の提出先は、警察本部地域総務課、登山する山を管轄する警察署、登山口にある投函箱です。
 - 単独登山は避け、経験者と同行しましょう。
 - 道迷いによる遭難が増加しています。登山地図ヘッドライト等の必要な装備品を携行しましょう。
 - 携帯電話等の通信機器を準備し、電池切れに備え予備バッテリーを携行して登山しましょう。
 - 体力・経験・装備に応じた登山コースを選定しましょう。
 - 夏期は熱中症にならないように水分や塩分の補給にも注意しましょう。
 - 登山前に目的とする山の気象状況等入手し現地の状況を把握して、場合によっては中止も検討しましょう。
 - 入山前に装備品を十分点検しましょう。
- 水難防止のために**
- 基本的なルール
 - 遊泳禁止場所でないか事前に調べておきましょう。
 - 自分の技術を過信しないようにしましょう。
 - 体調が優れないときや飲酒後は遊泳をやめましょう。
 - 子供さんからは目を離さないようにしましょう。
 - 海水浴を楽しむ皆さんへ
 - 高波の中での遊泳は危険ですので絶対にやめましょう。「遊泳禁止・注意」が出ているときは、監視員の指示に従いましょう。
 - 地震が発生した場合は、監視所等が行う場内放送を注意して聞きましょう。
 - 川や湖で水遊びを楽しむ皆さんへ
 - 流れの速い場所や急に深くなっている場所での水遊びはやめましょう。
 - 雨やダムの放水等で急に増水することがあるので注意しましょう。また、ダム放流の放送やサイレン、パトロール員の広報等があった時は、速やかに安全な場所に避難しましょう。
 - 水上オートバイを楽しむ皆さんへ
 - ライフジャケットを必ず着用しましょう。
 - 無免許で乗るのは絶対にやめましょう。また、免許のない人には貸さないようにしましょう。
 - 飲酒後の操縦はやめましょう。
 - 他人に迷惑となるような行為はやめましょう。
 - 遊泳区域や立ち入り禁止区域には絶対に入らないようにしましょう。
 - ウィンドサーフィンやサーフィンを楽しむ皆さんへ
 - 初心者には必ずグループで練習しましょう。
 - 潮の流れや風向き等に注意しましょう。
 - 気象庁から警報・注意報等が発表されているときはやめましょう。

特殊詐欺の被害防止

~ナンバーディスプレイと迷惑電話防止機能付き機器の導入~

○ 「サギ撲滅の2本柱」
1 「こんな言葉を電話で聞いたらサギだ！」
「急にお金が必要！用意して！」
「キャッシングカードを預かります！」
「ATMで医療費を還付します。」
「留守番電話設定をお願いします。」
「留守番電話設定をお願いします。」
「留守番電話設定をお願いします。」
「留守番電話設定をお願いします。」

○ ナンバーディスプレイと迷惑電話防止機能付き機器の購入検討を！

○ 還付金等詐欺
「お金の返金手続きが完了しました。」
「お金の返金手続きが完了しました。」
「お金の返金手続きが完了しました。」
「お金の返金手続きが完了しました。」

○ 被害に遭わないために
「お金の返金手続きが完了しました。」
「お金の返金手続きが完了しました。」
「お金の返金手続きが完了しました。」
「お金の返金手続きが完了しました。」

事件記録板

6月中旬から7月中旬までの事件は、
刑法犯等の犯罪はありませんでした。

・毎朝、小中学校の登校時に緑小中学校の校長先生と交通監視と誘導に当たっています。その際ゆくりですが、前輪左側タイヤがパンクシカカタと音を立てながら尾崎交差点を通過していく車がありました。そんな事があって数日後、パンクをしている車を何故注意しないのかとの意見を頂きました。子供達が通学する際の交通誘導の安全確保とパンクしている車を注意とアドバイスをどちらを優先すれば良いのか、警察官は瞬時に究極の選択を求められるんですね。幸いどちらも事故が発生がなかったのですが、常に危機意識を持つことがいかに大切かは、言うまでもありません。今後も皆さんから多くの意見があると思いますが、意見も参考に村民の安全に反映していきたいと思っています。今後とも宜しくお願い致します。

駐在所の独り言

~若年警察官と一般乗客の連携プレーについて~

富山県で非常に悲しく残念な事件がありました。小学校の警備員さん、交番の警察官とも家族や同僚の悲しみは、計り知れません。でも悲しんでばかりでいられず、警察は、今後も国民の生命を守ることを第一に考え活動していく事に変わりはありません。こうした悲しい思いをした時は、私自身の気持ちの整理方法は、良い事例を見て励みにしています。私自身、面識がないのですが、栄警察署地域課依田巡査29歳、新道巡査27歳と一般乗客の人命救助の連携プレーについて紹介します。2人は、地域課の先輩の関係を待っていた時、線路の方から「どさつ」という音がしたと同時に「人が落ちた」という叫び声が聞こえました。2人はすぐ、音が聞こえたホームの端に駆け寄り、下を見ると線路上には頭から血を流している男性が倒れていました。この時、男性は意識が遠のいている様子で、とても自力では立ち上がることができないようでした。依田巡査は、直ちに男性を救出しないと大惨事になると思い、近くにいた乗客に非常ボタンを押下と駅員への連絡、さらには119番通報を依頼し、自らは線路に降りました。線路に降りて間近に男性を確認すると、その男性はレールにぶつかったのか頭部から出血している状態でした。男性を救出しようにも、ホームの高さは1.5メートル以上あるため、依田巡査1人では男性をホームに上げることはできません。そこで、新道巡査も線路に降り、2人で男性を立ち上がらせたと同時に先程、通報等の協力を依頼した乗客も駆けつけてきました。そして、3人で力を合わせて男性の体を支え、引きずるようにして、ホームの端にある階段まで移動し、無事に男性をホームに引き上げました。協力をと、程なくして到着した救急隊員に引き継ぎ、男性は病院に搬送されました。後で分ってびっくりしたのですが、救助に協力してくれた乗客は、実は、川崎市に向出中の当県警の警察幹部だったようです。身分を伝えなくても、同じ警察官であれば心は一緒というところでしよう。第一に人命救助を優先し、若年警察官の指示の下で積極的に支援する幹部姿勢は、本当に素晴らしい連携でした。普段の生活の中で咄嗟の判断が難しいと思いますが、警察官や消防官など人命に関わる仕事をしています。常にイメージトレーニングをしているので、すぐに行動を起しますが、一般の方はそれほど簡単でないのかもしれないしれません。でも今回のように何があったかを声を出すだけでなく自分だけでなく周りの方々にも行動のきっかけになります。幼児から高齢の方まで何かあったら大声を出せるよう普段からトレーニングをしてみたいかがでしょうか。声を出す事は健康にもいいですし、何より声を出す事は、シャウト効果と言われ、精神力、運動能力ともに制御のスイッチが外れ、自分の限界に近い力と強い精神力を発揮出来るんです。